

ナイトセッション

「東日本大震災と海洋学会震災対応ワーキンググループの活動」

主催：日本海洋学会震災対応ワーキンググループ

コンビナー：池田元美（北海道大学）、津田 敦（東京大学、副会長）

日時：2011年9月29日（木） 18：00-20：00

会場：第1会場

開催趣旨

東日本大震災の海洋環境へのインパクトを解明し軽減することは、海洋科学の専門家が取り組むべき課題である。我が国の専門家がこの責務に取り組んでこそ、国際社会への責務が果たせる。2011年4月14日に池田元美会員ら有志によって開催された「震災にともなう海洋汚染に関する相談会」には100人以上の参加があり、学会に対する期待を痛感すると共に、情報交換・提供の重要性が指摘された。相談会の提言を受け、日本海洋学会では、幹事会メンバーおよび各方面の専門家を中心とする震災対応ワーキンググループ（WG）を設置し、その下に、観測・監視、分析・サンプリング、数値モデリング、生態系、広報・アウトリーチの5つのサブワーキンググループ（SWG）を設けた。

各 SWG は担当する分野において、情報の収集、解説の付与、提言などの活動を行い、そのアウトプットは主に、新たに立ち上げた「東日本大震災関連特設サイト」（URL：<http://www.kaiyo-gakkai.jp/main/sinsai>）を通して公開されている。

今後の活動としては、研究集会および一般向け講演会の立案や、より時間スケールの長い立場で考えなくてはならない生態系回復に関する活動などが挙げられる。また、現在、計画されている航海や解析結果も今後の研究集会や学会の場で発表されていくことになるが、その結果を踏まえて、新たな方向性を見出していくのも大事な使命であると考えている。本ナイトセッションではWGのこれまでの活動を紹介し、多くの方々と議論を進める中で、WGの活動を会員や社会への貢献できる方向性を模索する機会としたい。

プログラム

18：00-18：10	趣旨説明	池田元美（北海道大学）
	座長	池田元美（北海道大学）
18：10-18：40	東日本大震災と日本海洋学会	花輪 公雄（東北大学）
18：40-18：50	観測・モニタリング WG 報告	津田 敦（東京大学）
18：50-19：00	分析・サンプリング WG 報告	植松 光夫（東京大学）
19：00-19：10	モデリング WG 報告	池田 元美（北海道大学）
19：10-19：20	生態系 WG 報告	鈴木 昌弘（産総研）
19：20-19：30	広報・アウトリーチ報告	川合 義美（JAMSTEC）
	座長	津田 敦（東京大学）
19：30-20：00	総合討論	